



保南の風にのせて

<http://www.kusuna-e.edu.city.hiroshima.jp>

校長 杉山幸子

楠那小だより

臨時号 9号

平成24年

11月16日発行

縦割り班で やいぬく 思いやりのある強心を育てる



「六年生がいてくれて幸せ」の一日でした。「優しい言葉遣い、正しいと思ったことを言葉や行動に。」

11月2日(金)に行った縦割り班による「黄金山登山」では、6年生が見事にリーダーとしての務めを果たしました。下学年を思いやる気持ちを言葉や行動で示してくれました。そのことが下学年のお手本となりました。楠那小学校の6年生を誇りに思った一日でした。

協力して登った黄金山登山に登るまでの道はみんなスムーズに歩いていただけ、坂道になると登れない道もあったので、一、二年生の荷物を持ってあげました。(略)

登山している時、六年生が一年生の手をずっとにぎってあげていたのすごくいいなあと思いました。ロープがゆるんでいたら一番上まで早く登って木のまきつけてあるところからロープを引っ張ってくれていました。来年はこういうことをするんだなあと思いつながら登りました。

一年生が下り坂ですべってしまつたけど、六年生が、手をにぎっていたおかげで、手をついただけですみましたが、手に少しだけすり傷をしてみました。前の階段で六年生がパンソコウ

11月2日 縦割り班黄金山登山

をはってあげていました。いうこともするんだなと思いつながら下りていきました。

六年生が帰りにみんなを盛り上げるためにみんなで歌を歌いました。(略)

六年生が中心となつていろんなことをしなければならなうと思つて帰ってきました。いろんなことができる六年生になりたいと思いました。

(四年 前田)

「弱い者いじめを見過ごすのは卑怯な行動である。それには何の理由もない。卑怯な心を憎む心をきちんと育てなくてはいけない。」これは藤原正彦さんの著書「国家の品格」の一文です。そんな弱い立場の下学年をいたわり、もり立てながら6年生は立派に黄金山登山のリーダーを成し終えたのです。楠那小学校では、このような異学年グループでの活動は毎日続いています。清掃活動、楠那縦割り班集会(くすなキラリと光るチーム力2012)と一年間続き、良い人間関係を築いています。次は、5年生が引き継いでくれることを確信しています。楠那小学校の良い伝統です。



助け合いながら黄金山を下山

(前略)リーダーの補助をしてとてもクタクタです。リーダーがとても心配して「だいじょうぶか。」と何度もみんなに言っていて、「カッコイイな」と思いました。リーダーは、疲れた子の荷物を持ってあげたり、けがをした子にパンソコウをはってあげたりして、「やさしいな」と思いました。私も6年生になったら、リーダーみたいになりたいです。(略) (五年 上野)



1年生は「ありがとう」の感謝の言葉をたくさん伝えたいと思います。感謝の気持ちも育つ縦割り班活動です。

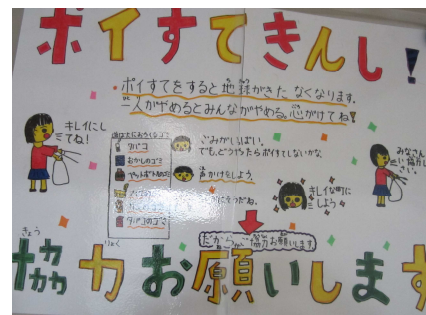
地域にも発信！4年生の熱い思い楠那環境調査隊始動



4年生は、今年度も総合的な学習の時間に楠那環境調査隊を立ち上げました。増え続けるごみ問題への挑戦です。

楠那の町のごみを減らしたい、自分たちの住んでいる楠那の町の環境をよくしたいという4年生の熱い思いの実現です。さっそく、校庭のごみ拾いから始めました。気付いたことは、植え込みの中にたくさんのごみが投げ捨てられていたことでした。「学校がなめられとるよ！」と子どもたちが話した通り、学校にはごみが一つも落ちていないところをしたいと思いました。

子どもたちは、地域の清掃活動の企画、計画、校長の許可、地域自治会長さんへのポスター掲示依頼、ポスター掲示、学校児童へのお知らせなどを自分たちでこなしてきました。11月9日(水)と28日(月)に丹那・楠那・日宇那・仁保南と投げ捨てられたごみを拾います。4年生の思いを引き継いで、ごみのポイ捨てのない楠那の町にしていきたいと思います。ご協力よろしくお願いします。



自治会などをお願いして掲示したポスター

ペットボトルのキャップでワクチンを！

4年生「環境調査隊」は、もう一つの取り組みとして、ペットボトルのキャップを集めてワクチンに変えようとしています。キャップ400個で10円分のワクチンだそうです。このワクチンは病気を治す薬です。世界の子どもたちの命を助けるために、11月いっぱい活動していきます。ご協力をよろしくお願いします。

感謝の気持ちを伝える 竹を使った脱穀体験 5年



東脱靴室で回収

収穫の秋。5年生が今年行っている米作り体験も収穫の時を迎えました。地域の田中さんと西角さんが作ってくださった手製の脱穀機で稲穂を持ち脱穀しました。「はで」に掛けて稲穂を干していたのですが、ちょっと油断したすきにネットから入り込んだスズメにかなりお米を食べられてしまいました。貴重な体験をした一日でした。

収穫した粳米は粳すりをして玄米と粳に分けます。毎日頂いているお米になるまでにまだまだ仕事がありそうです。温かく見守ってくださっている田中さん、西角さん本当にありがとうございます。これからも地域で子どもたちを見守ってやってください。

感謝の気持ちを伝える 包丁を使ったジャガイモ皮むき体験 6年

6年生は11月5日(月)2組、6日(火)1組と家庭科の時間に調理実習で「ポテトサラダ」と「ジャーマンポテト」を作りました。

これからの人生でりんごの皮をむいたり、カキや梨の皮をむいたりできる力をつけることが、どれだけ生活を豊かなものにできるかしれません。安全面のことを考えてこのたびは、地域からゲストティーチャー4名に助けをいただきました。「付かず離れず」見事な指導ぶりでした。本当にありがとうございました。



岩本眞知子ゲストティーチャー
「そうそう、ゆっくりと。」



島田洋子ゲストティーチャー
「左ききだからむずかしそうだね。」



三浦光子ゲストティーチャー
「手に持ってむいた方が安全よ。」



高橋厚子子ゲストティーチャー
「だいじょうぶ。親指を添えて・・・」

感謝の気持ちを伝える 楠那和太鼓のみなさん 南区子ども文化祭



南区子ども会の文化発表会が11月3日(土)に宇品小学校でありました。

楠那からは、楠那太鼓を仁保南子ども会を中心としたメンバーが披露しました。今年の2月に発足したばかりですが、月2回の練習で腕を上げてきた成果が伺えました。

楠那太鼓のメンバーは、11月10日(土)の楠那公民館まつりのオープニングでも活躍してくれました。

今度、1月13日(日)の楠那とんどまつりでも披露してくれる予定です。楽しみにしています。このように、子どもたちが地域で活躍してくれる姿がうれしい限りです。また、地域のみなさんに喜んでいただけることを幸せに感じます。